

## 平成30年度 京都市立中京中学校「学校経営方針」

### 【小中一貫教育目標】 未来を拓き しなやかに生きる子どもの育成 （「よんきゅう絆プロジェクト」）

＜目指す子ども像＞ 1人を大切にする 2あいさつをする 3進んで学習する  
4自分の考えを表現する 5からだを大切にする 6地域を愛する

※よんきゅう絆プロジェクトについては、続くページに資料掲載

### 【学校教育目標】『豊かな心を持ち、自ら学び、地域社会に貢献する生徒を育む』

※ 豊かな心をもつ生徒を育てます。

一人ひとりの生徒の可能性を最大限に開花させ、心身ともにたくましく、大切な自分を確認しつつ、人のために生きられる自分へと成長することを支援します。

※ 自ら学ぶ生徒を育てます。

生徒一人ひとりを徹底的に大切にできる教育をもとに、個に応じた指導を行い、生徒一人ひとりが生きる力を育み、自ら問題を解決する力を培うことができるように支援します。

※ 地域社会に貢献する生徒を育てます。

社会に対する責任を人として自覚し、地域をはじめ社会に主体的に寄与する力をつけられるよう支援していきます。

### 【重点目標】

- [1] 義務教育9年間の学びを見通した小中一貫教育をすすめる。（「よんきゅう絆プロジェクト」の推進）
- [2] 基礎基本の徹底と、自ら学び・自ら考える力を育成する。
- [3] 人権意識の高揚を図り、豊かな人間性を育成する。
- [4] たくましく生きるための健康や安全を考え、行動する力を育成する。
- [5] キャリア教育の視点に立ち、コミュニケーション能力をはじめとする基礎的汎用的能力を育成する。
- [6] 家庭と地域社会との連携を密に、開かれた学校づくりを進める。

### 【経営方針】

- [1] 生徒の良さや可能性を最大限に伸ばす指導の充実に努める。
- [2] 家庭の教育力、家庭学習充実への課題を明確にした具体的かつ積極的な働きかけに努める。
- [3] 学校・家庭・地域が一体となった、信頼される学校経営を推進する。
- [4] 特別支援教育の視点から、困りを持つ個々の生徒の実態に応じ、指導内容や指導方法の工夫に努める。
- [5] 教職員のプロとしての意識改革と、組織的な行動に努める。

### ＜目指す生徒像＞

- [1] しっかり聞き、しっかり考え、しっかり伝え、しっかり行動できる生徒。※
- [2] 約束やルールを守り、人を大切に自分も大切にできる生徒。※
- [3] 地域や学校で、明るく挨拶や返事のできる生徒。※
- [4] 集団の中で、お互いに磨き高めあうことのできる生徒。※

生徒の行動規範

一人ひとりの頑張りから、 お互いが、お互いに「支え合う・励まし合う・高め合う」集団に

<目指す教職員像>

- [1] 情熱と専門的な指導力を持った教職員。
- [2] 不断の研鑽を積み研修する教職員。
- [3] 行動し、自ら意識改革に努める教職員。
- [4] 一人ひとりの生徒・保護者に対して、親切で丁寧な対応のできる教職員。
- [5] 小中間で協働的な活動（「よんきゅう絆プロジェクト」）をすすめることができる教職員

<目指す学校像>

- [1] 生徒にとって、明るく楽しく通いがいいのある学校。
- [2] 教職員にとって、働きがいのある学校。
- [3] 保護者や地域にとって、安心・信頼・満足を実現する学校。
- [4] 環境にやさしい学校。

【指導の重点】

[1] 自ら学ぶために

- ① 基礎的基本的な知識・技能の習得の徹底に努める。
- ② 自ら考え伝え、活用する力の育成に努める。
- ③ 中位層の学力を伸ばす指導と学習評価の充実に努める。
- ④ 家庭学習につながる、個々の生徒にあった学習課題の設定に努める。

[2] 豊かな心をもつために

- ① 道徳教育の推進に努める。
- ② 規範意識の内面化をはかるとともに、「いじめ」のない集団づくりと絆づくりの支援に努める。
- ③ 子どもの困りに気付くとともに、問題行動等の予防と対応に努める。
- ④ 不登校の未然防止と学校復帰を目指した支援に努める。

[3] 社会に貢献できる生徒を育むために

- ① 望ましい生活習慣の形成と健康や体力の保持に努める。
- ② 自立して社会の発展に主体的に寄与する力の育成に努める。
- ③ 自らの生き方を考える力を養うとともに、キャリア発達に視点を置いた進路保障に努める。
- ④ 積極的に地域の活動に参加できる生徒の育成と土壌づくりに努める。※

※小中一貫教育「よんきゅう絆プロジェクト」のめざす子ども像と共通

よんきゅう絆プロジェクト 小中一貫教育目標

# 未来を拓き しなやかに生きる子どもの育成

京都市学校教育の重点  
めざす子ども像

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と  
自らの未来を切り拓く子ども」

- 1 授業を通して自ら進んで学ぶ力を培う
- 2 家庭での自学自習の習慣
- 3 自他を大切にしている態度の育成
- 4 「公共の精神」に基づく態度の育成

めざす子ども像

- 1 人を大切にする
- 2 あいさつをする
- 3 進んで学習する
- 4 自分の考えを表現する
- 5 からだを大切にする
- 6 地域を愛する

【児童生徒と地域の実態】

- 児童・生徒の様子
  - ・全体的に落ち着いている
  - ・自ら挨拶する姿勢が弱い
  - ・規範意識の低い場面がある
- 複雑な通学区
  - ・地域の教育力は比較的高い
  - ・一つの小学校から数校の中学校へ入学
  - ・異なる行政区の小学校から中学校へ入学

【学校教育目標】

- 北野中・・・自他を大切に、心豊かな未来を拓く力を育てる  
 朱雀中・・・確かな学力を身につけるとともに、自らを律する生徒を育てる  
 中京中・・・豊かな心を持ち、自ら学び、地域社会に貢献する生徒を育てる  
 西ノ京中・・・心豊かにたくましく生きる力を育成する  
 大將軍小・・・心身ともに豊かでたくましく、共に高まり合う子どもの育成  
 仁和小・・・進んで学び、生き生きとたくましく、共に生きる子の育成  
 洛中小・・・夢に向かって挑戦し、粘り強く頑張る子の育成  
 朱一小・・・夢をもち 互いに高め合いながら 未来を切り拓く子の育成  
 朱二小・・・心豊かで、しなやかに生きる朱二の子  
 朱四小・・・愛する心を育み、未来を生き抜く力を育てる  
     ～相手を尊重し、協働的に問題を解決する子どもの育成～  
 朱六小・・・共に学び自らを創り出す朱六の子ども ～笑顔が集まる学校～  
 朱七小・・・自分のよさを磨き、一人一人が 光り輝く子どもの育成  
     ～自己を見つめ、なりたい自分の実現を目指して～  
 朱八小・・・よく考え、心豊かに、たくましく生きる朱八の子

教職員連携

- ・小中学校の教職員間の協働的な活動の推進
- ・教職員小中合同研修会の実施

学力向上

- ・9年間の系統性を確保した教育課程の編成
- ・学びの約束(学習規律)の確立
- ・家庭学習の充実

生活向上

- ・「自立の3要素」「生活規律」の9年間の指標の確立
- ・児童会・生徒会の協働活動推進
- ・生活向上標語の作成
- ・あいさつ運動の推進
- ・部活動体験の実施

英語教育

- ・中学校教員と小6学級担任による授業実践と授業研究(教材の開発含む)
- ・小学校英語教育教科化に向けての研究推進

人権教育の推進

- ・「人権という普遍的文化」の担い手の育成
- ・学校としての組織的取組の推進

道徳教育の推進

- ・自尊感情を育てるための道徳教育の推進
- ・規範意識を高める道徳教育の推進
- ・人間関係形成・社会形成能力の育成

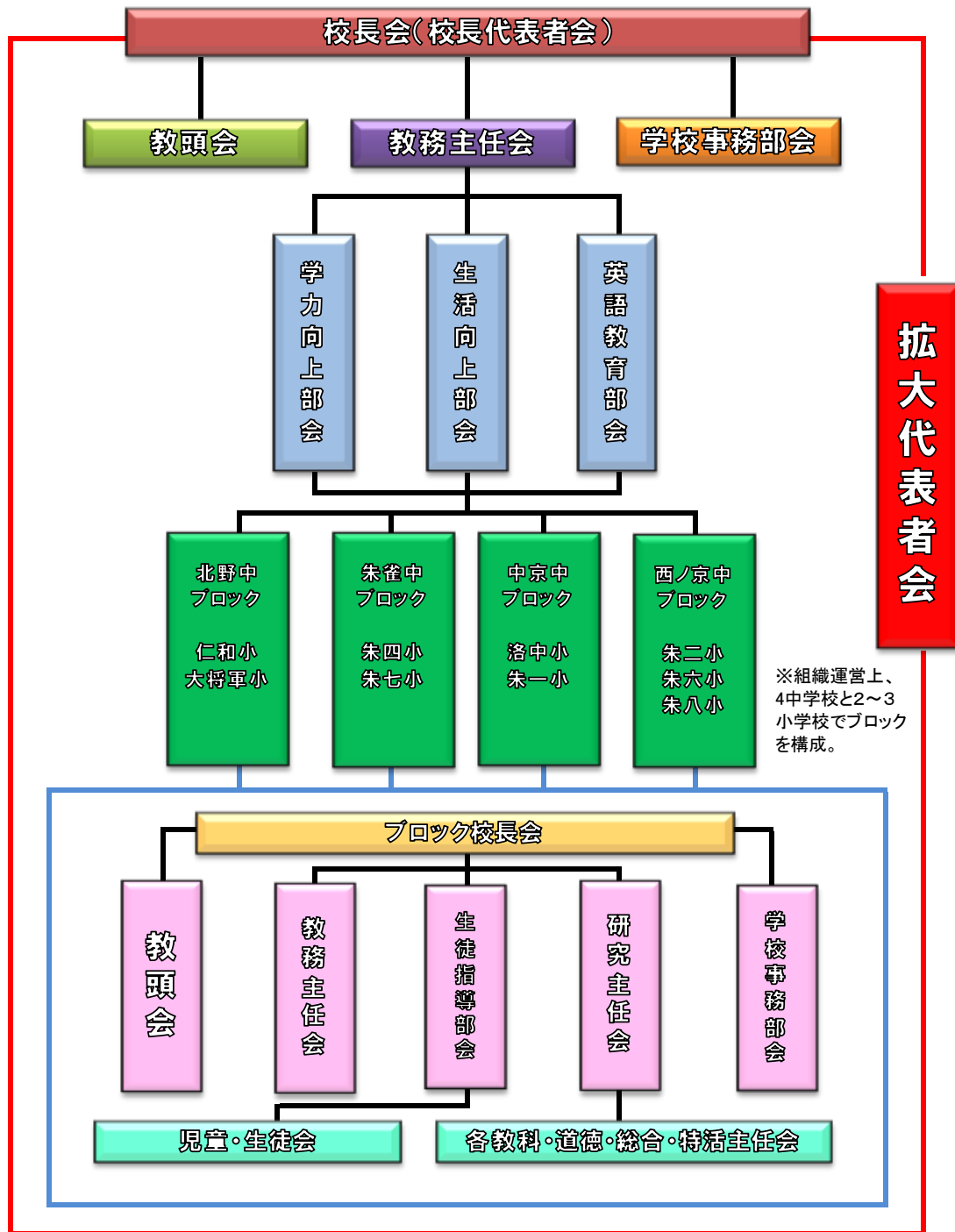
家庭・地域との連携

- ・小中合同のPTA活動の実施
- ・学校運営協議会の実施
- ・地域生徒指導連絡協議会の実施

協働的な職員体制・高い同僚性・風通しの良い職場

# 4中9小小中一貫プロジェクト推進体制

## 名称：よんきゅう絆プロジェクト



家庭・地域との連携・協力に向けた取組

### ■情報発信の充実

\* 学校だよりや学校ホームページ等の内容の充実を図り、学校教育活動のようすを積極的に発信する

### ■家庭・地域との連携の推進

\* あいさつ運動・エコ活動・地域パトロールなど、学校・PTA・地域団体が連携した取組を推進していく

### ■学校評価の有効活用

\* 学校運営協議会の理解・協力を得て、今後の学校教育活動に生かしていく